

7. GPA (Grade Point Average)

- ・科目ナンバリング

「GPA」について

神戸大学では、「学位授与に関する方針」に掲げる国際的に卓越した教育を保証し、「単位の実質化」を進めるため、平成24年度入学生(*)から「GPA (Grade Point Average)」を通知することになりました。

(* 学部編入学生や一部の大学院学生は含みません。)

I. GPAについて

「GPA」とは、下記「成績評価基準」(秀、優、良、可、不可)に基づいて評価した成績の単位数に、それぞれのGP (Grade Point) を掛けて合計したものを、履修登録を行った単位数の合計で割って計算した、1単位あたりのGP平均値 (Average) です。

「成績評価基準」

評語名 (和文)	評語名 (英文)	最小点	最大点	GP
秀	S	90	100	4.3
優	A	80	89	4
良	B	70	79	3
可	C	60	69	2
不可	F	0	59	0

※「可」以上が「合格」となり、単位が修得できる。

II. GPA計算について

$$\text{GPA} = \frac{\text{〔履修登録した科目の単位数} \times \text{当該科目のGP〕の合計}}{\text{履修登録した科目の単位数合計 (不可を含む)}}$$

1. 履修登録した科目のうち、GPA計算式に入らない科目があります。

- ① 成績を「合格」で評価する科目
- ② 他大学等で単位修得し、神戸大学が「認定」とした科目
- ③ 履修取り消しをした科目 (以下「Ⅲ. 履修取消制度について」参照)
- ④ 資格免許のための科目 (教職科目、学芸員関連科目) (*)

(* 一部の学部・研究科では計算式に入る科目があります。所属学部、研究科毎にお知らせします。)

- ⑤ 所属学部・研究科で指定した科目 (所属学部・研究科毎にお知らせします。)

2. 再履修をした場合、過去の「不可」の成績は、原則としてGPA計算式に入りません。

- ・「不可」(不合格)と成績評価された科目を、再び履修登録した場合、再履修した時の「不可～秀」(GP=0～4.3)の成績がGPA計算式に入り、当該科目について過去に付いた「不可」(GP=0)の成績が、再履修した学期以降のGPA計算式から除外されます。ただし、過去に計算されたGPA(学期)の値は変更されません。

※所属学部・研究科によっては「除外されない科目」がありますので注意してください。

(所属学部・研究科毎にお知らせします。)

Ⅲ. 履修取消制度について

学期初めに履修登録を行った科目について、途中で履修を中止したい場合、クォーター毎に設けられる**履修取消期間**中に、履修を取り消すことができます。

〔履修取消期間〕

各クォーターの履修取消期間は別途掲示等でお知らせします。

〔取消の対象となる科目〕

以下のとおり、授業が始まるクォーターの履修取消期間に取消が可能です。

	取消の対象となる開講科目
第1クォーター履修取消期間	第1クォーター開講科目、前期開講科目、通年開講科目
第2クォーター履修取消期間	第2クォーター開講科目
第3クォーター履修取消期間	第3クォーター開講科目、後期開講科目
第4クォーター履修取消期間	第4クォーター開講科目

☆履修登録や履修取消は、原則として学生自らが「うりぼーネット」(Web)で行います。

- ・ 取り消した科目は、「履修科目一覧表」や「学業成績表」で確認でき、GPA計算式に入りません。
- ・ 履修取消期間中に取り消さなかった科目は、成績評価の対象となります。取り消さずに途中で履修を中止した場合、成績評価は「不可」(不合格)となり、GPA計算式に入りますので、注意してください。
- ・ 取り消した科目も「履修登録単位の上限(CAP制)」(*)の単位数に入ります。

履修登録前までに、各授業科目のシラバスで授業内容を必ず確認し、年間の履修計画をしっかりと立てた上で、履修登録と履修取消を行ってください。

(*「履修登録単位の上限(CAP制)」とは、年間又は学期毎に履修登録できる単位数の上限のことです。上限の単位数については、所属学部・研究科毎にお知らせします。)

- ・ 取り消した科目は、履修取消期間終了後、その開講期間中に再び受講(履修)することはできません。

※修学上の理由から、「履修取消ができない科目」と「履修取消期間中に取消ができない科目」があります。詳細については、所属学部・研究科毎にお知らせします。

Ⅳ. GPAの通知について

- ・ 成績評価はクォーター毎、「GPA」は学期毎に通知されます。併せて「科目GP(単位数×GP)」と「GPA(学期)」も通知されます。
- ・ 通知されたGPAにより、学期毎及び在学中の成績評価の平均値を確認し、学習成果の指標とすることができます。

☆成績評価とGPAは、学生自ら「うりぼーネット」(Web)で確認できます。

例えば、下記の成績照会画面(例)では、GPAは「3.11」です。2016年度前期のGPAは「3.00」でしたが、2016年度後期のGPAは「3.22」でしたので、後期の成績評価(平均)が、前期の成績評価(平均)より上昇したことがわかります。

成績照会画面(例)：「うりぼーネット」(Web)単位修得状

■GPA

GPA	科目GP合計	計算単位数	計算日
3.11	118	38	2017年3月15日

※GPAは小数点第3位を四捨五入して表示されます。

■GPA(学期)

年度	前期				後期			
	GPA(学期)	科目GP合計	計算単位数	計算日	GPA(学期)	科目GP合計	計算単位数	計算日
2016年度	3.00	60	20	2016年9月15日	3.22	58	18	2017年3月15日

No	区分	大区分	中区分	科目名	単位数	修得年度	修得学期	評語	科目GP	合否
1	全学共通授業科目	基礎教養科目		〇〇〇〇〇	2	2015	前期	秀	8.6	合

(理学部・理学研究科における取扱い)

集中講義の履修取消期間について(学部・大学院共通)

平成 23 年 12 月 9 日教務委員会決定

平成 23 年 12 月 16 日教授会決定

正規の履修取消期間以前に行われる集中講義(集中講義の期間が履修取消期間に重なる場合も含む)については、講義が始まる前日までに教務学生係に紙媒体で申し出ることにより取り消すことができることとする。履修取消期間後に行われる集中講義については、通常の講義と同様に、履修取消期間内に教務情報システムから行うこととする。

GPA計算から除外する科目について(学部)

平成 23 年 12 月 9 日教務委員会決定

平成 23 年 12 月 16 日教授会決定

- 1 「合格」及び「認定」と評価された授業科目は除外科目とする。
- 2 卒業要件に含まれない授業科目(教職科目や学芸員関連科目などの資格免許のための科目)は除外科目とする。
- 3 卒業要件に含まれるが、他学部で開講される授業科目は除外科目とする。

全学共通授業科目におけるGPAの取扱いについて (平成24年度入学者から適用)

(平成24年5月31日 運営協議会決定)

最終改正 平成28年1月28日

適用年月日 平成28年4月1日

1. GPA対象科目について

全学共通授業科目は、「情報基礎」、「Autonomous English 1, 2」、「総合科目Ⅰ, Ⅱ」及び資格免許取得のために履修する「日本国憲法」を除き、全てGPA対象科目です。(別紙, 略)

2. GPA計算方法について

全学共通授業科目は、全学の「GPAの取扱い」に準じて計算を行います。以下の授業科目については取扱いが異なります。

(1) 基礎教養科目・総合教養科目

基礎教養科目・総合教養科目は、当該学期に履修したすべての授業科目の成績がGPA計算式に算入されます。

また、過去に「不可」の成績がある場合は、新たに科目を履修することにより、当該成績の合格・不合格にかかわらず、1科目につき、同授業科目区分の同単位数の1科目の過去の「不可」の成績がGPA計算式から除外されます。過去の「不可」の授業科目と新たに履修した授業科目は、同一でなくても構いません。

なお、過去に「不可」の成績となった一つの授業科目の単位数が2単位以上の場合、新たに同授業科目区分の同単位数分の科目を履修することにより、過去の「不可」の成績がGPA計算式から除外されます。

(2) 外国語科目 (Advanced English A1, A2, B, C)

Advanced Englishは、*重複履修が可能な授業科目です。

合格、不合格に関わらず、すべての成績(「不可」を含む)がGPA計算式に算入されます。

*重複履修とは既に単位を修得した授業科目を繰り返し履修することです。

3. 履修取消について

- ・やむを得ない事情により、履修取消期間外に手続きが必要な場合は、所属する学部の教務担当係に申し出てください。所属学部から当該学生の履修取消依頼があれば、履修の取り消しができます。
- ・集中講義については、講義最終日の前日までとします。(別途、掲示等により指示します。)

4. その他

2(1)について、平成27年度以前入学者は以下のとおり取り扱います。

基礎教養科目・総合教養科目は、当該学期に履修したすべての授業科目の成績がGPA計算式に算入されます。

また、基礎教養科目・総合教養科目・教養原論において過去に「不可」の成績がある場合は、新たに科目を履修することにより、当該成績の合格・不合格にかかわらず、1科目につき、同単位数の1科目の過去の「不可」の成績がGPA計算式から除外されます。過去の「不可」の授業科目と新たに履修した授業科目は、同一でなくても構いません。

なお、過去に「不可」の成績となった一つの授業科目の単位数が2単位以上の場合、新たに同単位数分の科目を履修することにより、過去の「不可」の成績がGPA計算式から除外されます。

上記以外の事項については、全学の「GPA」の取扱いに準じて行います。

科目ナンバリングの導入について

神戸大学では、各学部および研究科における教育課程の系統性、順次性及び科目の水準を明らかにし、学生の履修計画、学修活動の手助けとなるように、平成28年度の入学者対象のカリキュラムから、科目ナンバリングを導入します。

1. 基本方針

各授業科目のナンバリングコードは、以下のとおり7桁の英数字で構成されます。

(例) L 1 H M 1 0 0

第1桁	第2桁	第3～第4桁	第5桁	第6～第7桁
アルファベット	数字	アルファベット	数字	数字
科目提供母体の部局	課程	学科、専攻等	科目のカテゴリー	科目のナンバー
別表1参照	1：学士課程 2：博士課程前期課程 3：博士課程後期課程	別表1参照（開講部局で設定）	別表2のとおり	開講部局毎に設定
(例) L	1	HM	1	00
文学部	学士課程	人文学科	初級レベルの科目	初年次セミナー

第5桁 科目のカテゴリー

別表2

1	学 士 課 程	全学共通授業科目・専門授業科目	初級レベルの科目
2			中級レベルの科目
3			上級レベルの科目
4			最上級レベルの科目（卒業論文関連科目を含む）
5		高度教養科目	
6	大 学 院 課 程	博士課程前期課程、専門職学位課程の専門授業科目	博士課程前期課程、専門職学位課程の基礎科目
7			博士課程前期課程、専門職学位課程の発展科目（修士論文関連科目）
8		博士課程後期課程の専門授業科目	
0		卒業要件外の科目（教職科目等資格関連科目）	

第6桁～第7桁 開講部局で設定

理学部・理学研究科のナンバリングコードについて

3, 4桁目 (学科・専攻等)

理学部共通：S C, 数学科・数学専攻：M A, 物理学科・物理学専攻：P H

化学科・化学専攻：C H, 生物学科・生物学専攻：B I, 惑星学科・惑星学専攻：W A

●高度教養科目 (理学部共通)

6桁目 0：英語サマースクール科目、1：外部向け科目、2：入門セミナー科目、
3：基礎セミナー科目である。

7桁目 連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

◎数学科・数学専攻

●学部

5桁目は履修すべき学年を表す。

6桁目は分野を表し、1代数学、2幾何学、3解析学、4応用数学、0その他である。

7桁目は科目の順次性を表す。5桁目及び6桁目が等しく7桁目の数字が連続している科目は、数字の順に履修しないと理解が不能である。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

●修士 (博士課程前期課程)

5桁目は基本となる科目が6、より高度な科目が7である。

修士の科目には履修の順がなく、6～7桁目の数字は連続しない。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

●博士 (博士課程後期課程)

科目に履修の順がなく、6～7桁目の数字は連続しない。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

◎物理学科・物理学専攻

●学部

5桁目は履修すべき学年を表す。

6桁目は分野を表し、0力学、1物理数学、2電磁気学、3統計物理学、4量子力学、

5実験物理学、6物性関係専門科目、7その他専門科目、8初年次セミナー、9その他である。

7桁目は科目の順次性を表す。5桁目及び6桁目が等しく7桁目の数字が連続している科目は、数字の順に履修しないと理解が不能である。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

●修士 (博士課程前期課程)

5桁目は基本となる科目が6、より高度な科目が7である。

修士の科目には履修の順がなく、6～7桁目の数字は連続しない。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

●博士 (博士課程後期課程)

科目に履修の順がなく、6～7桁目の数字は連続しない。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

◎化学科・化学専攻

いずれのナンバーも6桁目は分野を表し、1物理化学、2量子化学、3無機化学、4分析化学、5有機化学、6生物化学、7実験科目、8その他である。

●学部

5桁目は履修すべき学年を表す。7桁目は科目の順次性を表す。

5桁目及び6桁目が等しく7桁目の数字が連続している科目は、数字の順に履修しないと理解が不能である。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

●修士（博士課程前期課程）

5桁目は基本となる科目が6、より高度な科目が7である。

修士の科目には履修の順がなく、7桁目の数字は連続しない。

連続していない数字間の大小は特に意味を持たない。

●博士（博士課程後期課程）

科目に履修の順がなく、7桁目の数字は連続しない。

連続していない数字間の大小は特に意味を持たない。

◎生物学科・生物学専攻

●学部

5桁目は履修すべき学年を表す。

6-7桁目は科目の順次性を表す。5桁目が等しく、6-7桁目の数字が連続している科目は、数字の順に履修しないと理解が不能である。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

●修士（博士課程前期課程）

5桁目は基本となる科目が6、より高度な科目が7である。

修士の科目には履修の順がなく、6-7桁目の数字は連続しない。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

●博士（博士課程後期課程）

科目に履修の順がなく、6-7桁目の数字は連続しない。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

◎惑星学科・惑星学専攻

●学部

5桁目は履修すべき学年を表す。

6桁目は特に意味はない。

7桁目は科目の順次性を表す。5桁目及び6桁目が等しく7桁目の数字が連続している科目は、数字の順に履修しないと理解が不能である。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

●修士（博士課程前期課程）

5桁目は基本となる科目が6、より高度な科目が7である。

5桁目及び6桁目が等しく7桁目の数字が連続している科目は、数字の順に履修しないと理解が不能である。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

●博士（博士課程後期課程）

科目に履修の順がなく、6～7桁目の数字は連続しない。

連続していない数字間の大小、数字間の間隔の長さは特に意味を持たない。

2. 科目ナンバリングの確認方法及び活用方法

- ・各授業科目のナンバリングコードは、学生便覧で確認してください。
- ・平成29年度からは、シラバス及び成績確認表でナンバリングコードを確認できる予定です。